

平成 30 年度子どもの読書活動優秀実践校、 文部科学大臣表彰受賞

熊本県立小川工業高等学校

本校は、平成30年度子どもの読書活動優秀実践校として、文部科学大臣表彰を受賞しました。そこで、評価の対象となった本校の読書活動を紹介します。

1 朝読書の推進

平成12年から始めた「朝の読書」は、今年度で19年目を迎えました。8時35分から10分間、生徒・職員共に読書を行うことで、落ち着いた一日のスタートが切れるよう努めています。



2 特色ある図書委員活動



① 出前図書館

毎週水曜日には、図書委員による出前図書館を実施しています。約30冊程度の本をかごに入れ、各クラスを回って貸出と返却を行っています。その努力の成果もあり、年々貸出数が増加傾向にあります。

② 近隣小学校での読み聞かせ

平成20年度から、各学期に1回ずつ宇城市立小野部田小学校での読み聞かせを行っています。毎回好評を博し、本校生徒と子ども達との心の絆が深まることはもちろんのことですが、生徒達の優しい心の育成にもつながっています。



③ 広報活動

広報活動では、「としょかんにゆーす」の発行や、展示コーナーの設置を行い、図書館のPRをしています。展示内容は、時事問題や進路指導など多岐に渡り、書籍だけではなく雑誌や新聞記事なども展示し、親しみのある図書館経営に努めています。